

## 第3回東京都地域医療構想策定に係る意見聴取の場

《日時・会場》（北多摩南部）

平成28年2月12日（金）17:00～18:30

／新宿NSビル 3-H会議室

1 開 会

2 説 明

（1）東京都地域医療構想（骨子）案について

（2）構想区域の特徴について

3 意見交換

構想区域の現状と課題

4 閉 会

### 【配布資料】

資料1-1 東京都地域医療構想骨子案について（構成）

資料1-2 東京都地域医療構想（骨子）案

資料2 意見交換 ～北多摩南部における現状と課題～

資料3 医療・介護資源の状況

資料4 構想区域の特徴

資料5 構想区域間の患者の流出入状況

資料6 <入院料・疾患別>患者の受療動向（完結率）

参考1 構想区域（地図）

参考2 平成27年度第2回東京都地域医療構想策定に係る意見聴取の場  
（構想区域別意見）

## 意見交換 ～北多摩南部における現状と課題～

<患者の流出入の状況（2025年推計）>

高度急性期	急性期	回復期	慢性期
流入超過 (347.9人/日)	流入超過 (395.2人/日)	流入超過 (344.0人/日)	流出超過 (343.3人/日)

### 1 流出について

（論点の例示）

#### ○北多摩南部に住む患者を北多摩南部の医療機関で診ている割合（自構想区域完結率）について

- ・高度急性期～回復期機能
  - 流入超過となる一方で、流出も多く生じており、流出先の上位は区部の構想区域となっている。ただし、自構想区域完結率はいずれの機能でも7割前後で安定している。
- ・慢性期機能 → 流出超過であり、自構想区域完結率は40.9%と低いが、隣接区域で入院している患者を含むと83.8%に高まる。特に隣接する南多摩への流出が多く、流出患者の40%を占める。

#### ○連携について

- ・患者が転院や退院により、住み慣れた地域（住所地）に戻る際、入院していた医療機関との情報共有、連携が必要となるが、課題は何か。

### 2 流入について

（論点の例示）

#### ○連携について

- ・他の構想区域に住んでいる入院患者が、円滑に転退院するためには、患者の転院先や患者の住む地域の医療機関等との連携が必要となるが、課題は何か。
- ・例えば、高度急性期は北多摩南部に住んでいる患者は47.1%であり、多摩地域を中心に多くの患者が流入。

### 3 提供している医療の現状（診療科別、機能別など）

（論点の例示）

- 不足している医療・機能
- 将来に向けて不足することが懸念される医療・機能

特 徴

- 特定機能病院 1施設(1大学病院)
- 救命救急センター 3施設
- 医療療養病床の高齢者人口10万対病床数が、多摩地域の圏域では唯一都平均を下回る
- 療養型介護療養施設サービス費算定病床数は少なく、高齢者人口10万対で都平均の6割
- 障害者施設等入院基本料算定病床数は多く、人口10万対で都平均の1.9倍
- 緩和ケア病棟入院料算定病床数は、人口10万対で都平均並み

届 出 の 状 況

北多摩南部の届出状況	病床数	北多摩南部 人口10万対	都内 人口10万対
特定機能病院一般病棟入院基本料	825	82.5	97.2
一般病棟7対1入院基本料	2491	249.2	251.4
一般病棟10対1入院基本料	893	89.3	95.1
一般病棟13対1入院基本料	50	5.0	20.0
一般病棟15対1入院基本料	194	19.4	25.5
療養病棟入院基本料 ※1	644	305.0	456.1
療養型介護療養施設サービス費(介護療養病床として使用) ※2	129	61.1	101.5
障害者施設等入院基本料	583	58.3	30.9
特殊疾患入院医療管理料/入院料	0	0.0	2.0
回復期リハビリテーション病棟入院料	476	47.6	40.7
地域包括ケア病棟入院料/管理料	0	0.0	3.7
緩和ケア病棟入院料	32	3.2	3.7

※1は医療療養病床、※2は介護療養病床と読み替え。いずれも、人口10万対病床数は、高齢者人口を使用

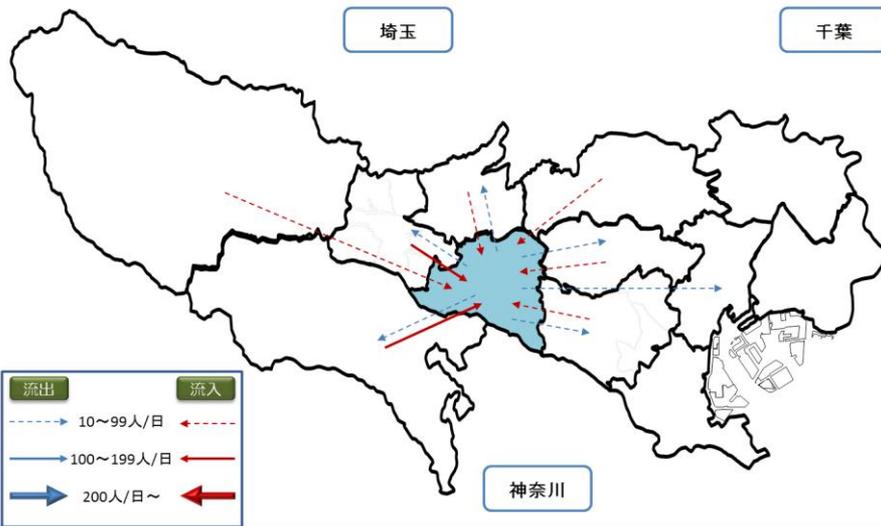
【参考】都全域の状況

	一般 病床	療養 病床	精神 病床	特定 機能 病院	大学 病院 本院	救命 救急 センター	在支病	内 高齢者 人口 10万対	在支診	内 高齢者 人口 10万対	訪看 St.	内 高齢者 人口 10万対	特養	内 高齢者 人口 10万対	老健	内 高齢者 人口 10万対
区中央部	8,239	1,699	1,307	6	5	6	3	1.9	184	113.9	65	40.2	2,046	1,266.8	789	488.5
区南部	6,574	1,518	178	2	2	2	5	2.1	145	61.4	71	30.0	2,146	908.0	670	283.5
区西南部	8,239	1,699	1,307	0	0	3	4	1.5	203	75.2	112	41.5	2,592	960.3	1,176	435.7
区西部	9,115	1,498	315	3	3	3	8	3.2	179	72.6	88	35.7	2,495	1,011.5	868	351.9
区西北部	10,671	3,690	3,320	2	2	2	18	4.3	254	60.9	135	32.4	4,712	1,129.2	3,018	723.3
区東北部	7,407	2,092	1,453	0	0	1	15	4.7	133	41.6	97	30.4	4,529	1,417.6	2,965	928.1
区東部	7,331	1,174	165	0	0	1	7	2.3	120	39.9	74	24.6	3,185	1,058.4	2,328	773.6
西多摩	1,925	2,316	2,622	0	0	1	5	4.9	20	19.6	28	27.4	6,802	6,650.6	1,315	1,285.7
南多摩	6,660	3,962	7,227	0	0	2	13	3.8	96	28.3	86	25.4	5,722	1,687.5	2,541	749.4
北多摩西部	3,449	1,150	63	0	0	1	5	3.4	48	32.4	46	31.1	2,254	1,522.1	1,489	1,005.5
北多摩南部	6,384	1,464	3,465	1	1	3	9	4.3	98	46.4	67	31.7	2,223	1,052.7	1,597	756.3
北多摩北部	4,412	1,743	2,193	0	0	1	4	2.3	57	32.5	55	31.4	2,978	1,698.5	1,569	894.9
島しょ	110	6	0	0	0	0	0	0.0	3	33.7	0	0.0	322	3,621.2	0	0.0

2025年推計患者数



流 出 入 の 状 況



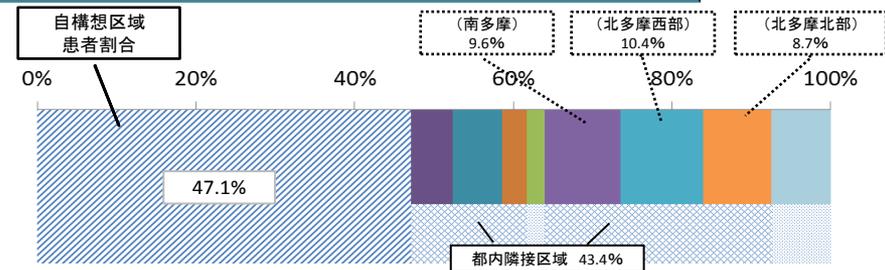
流入

1	北多摩西部	111.0人/日
2	南多摩	103.5人/日
3	北多摩北部	92.9人/日

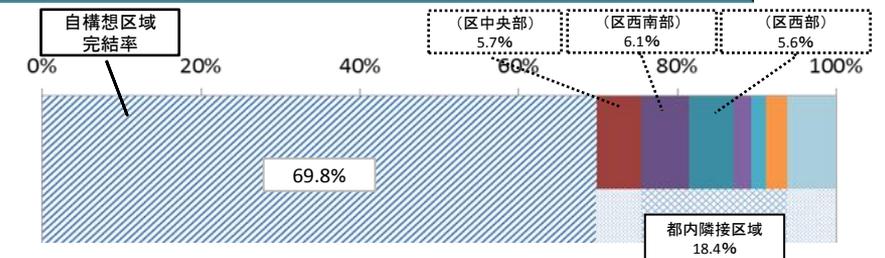
流出

1	区西南部	43.9人/日
2	区中央部	41.0人/日
3	区西部	40.5人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 88.2%

- 流入超過の構想区域であり、多摩地域の構想区域からの流入が多く、流入患者の59%にあたる。
- 自構想区域完結率は69.8%と多摩地域で最も高く、都内隣接区域を含むと88.2%である。
- 多摩地域で唯一、大学病院本院が所在する。

《凡例》



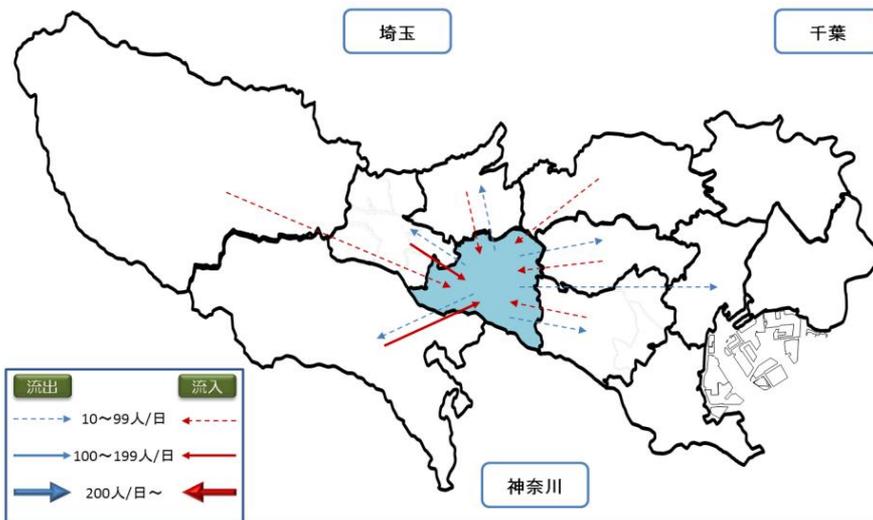
※ 自構想区域完結率: 北多摩南部に住所を持つ患者が、北多摩南部の医療機関に入院している割合

※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流 出 入 の 状 況



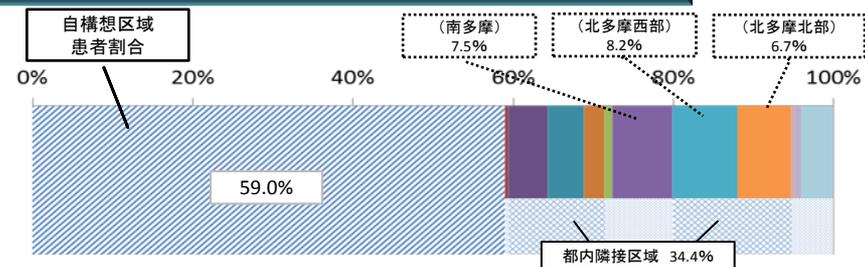
流 入

1	北多摩西部	197.4人/日
2	南多摩	181.3人/日
3	北多摩北部	160.9人/日

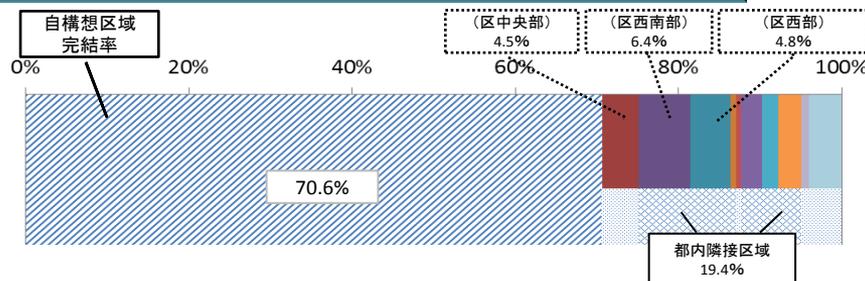
流 出

1	区西南部	128.1人/日
2	区西部	97.6人/日
3	区中央部	90.0人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 90.0%

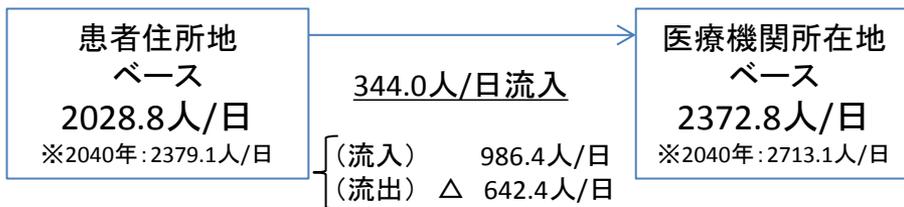
- 流入元・流出先は高度急性期と同様の傾向であり、流入元の57%を多摩地域、流出先の58%を区部が占めている。
- 自構想区域完結率が70.6%と高く、都内隣接区域を含むと90.0%である。

《凡例》



※ 自構想区域完結率: 北多摩南部に住所を持つ患者が、北多摩南部の医療機関に入院している割合  
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

2025年推計患者数



流出入の状況



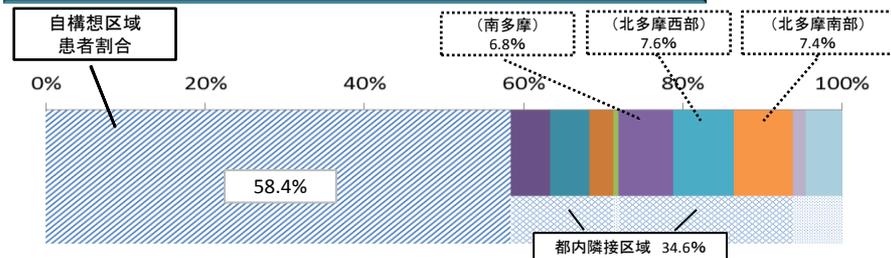
流入

1	北多摩西部	181.3人/日
2	北多摩北部	175.4人/日
3	南多摩	161.2人/日

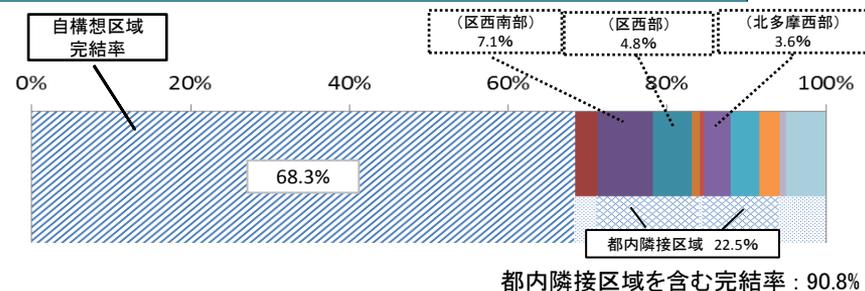
流出

1	区西南部	143.3人/日
2	区西部	98.1人/日
3	北多摩西部	74.0人/日

(流入) 構想区域内の患者割合



(流出) 構想区域内在住の患者入院先



- 流入元・流出先は高度急性期と同様の傾向である。
- 自構想区域完結率が68.3%で、都内隣接区域を含むと90.8%である。
- 回復期リハビリテーション病床は、人口10万対で都平均1.2倍

《凡例》



※ 自構想区域完結率：北多摩南部に住所地を持つ患者が、北多摩南部の医療機関に入院している割合  
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。

## 2025年推計患者数

患者住所地  
ベース

1769.9人/日

※2040年:2066.1人/日

343.3人/日流出

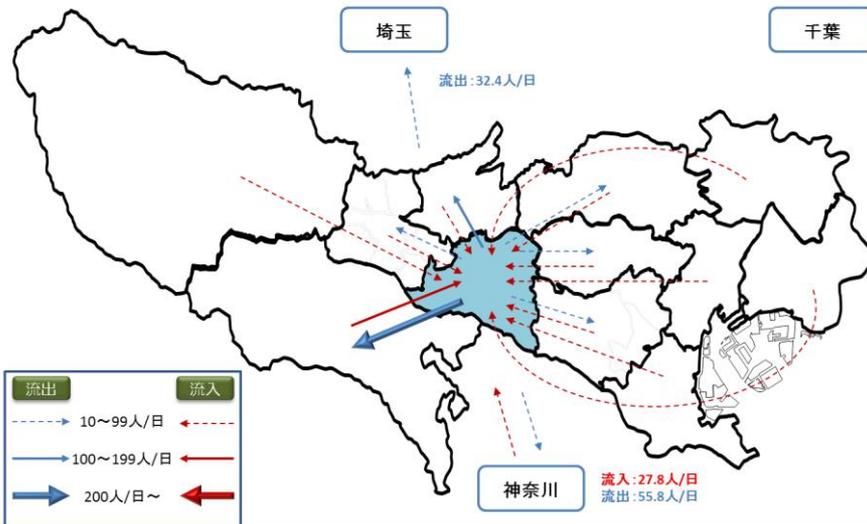
医療機関所在地  
ベース

1426.5人/日

※2040年:1584.6人/日

(流入) 702.2人/日  
(流出) △ 1045.5人/日

## 流出入の状況



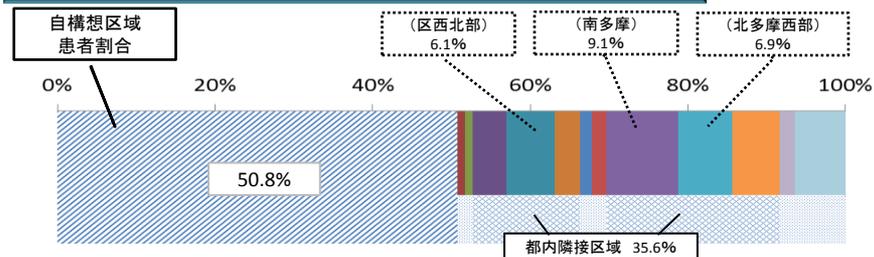
### 流入

1	南多摩	130.2人/日
2	北多摩西部	98.5人/日
3	区西部	87.2人/日

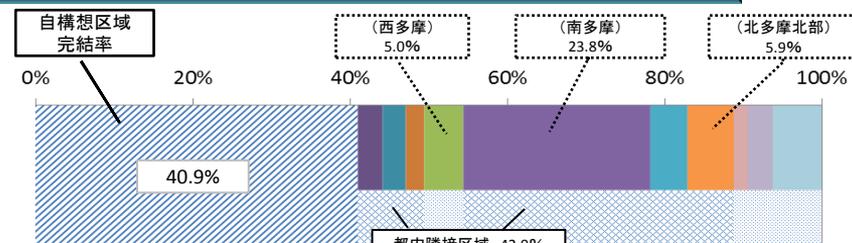
### 流出

1	南多摩	420.5人/日
2	北多摩北部	104.1人/日
3	西多摩	88.1人/日

## (流入) 構想区域内の患者割合



## (流出) 構想区域内在住の患者入院先



都内隣接区域を含む完結率: 83.8%

- 流出患者のうち、南多摩に流出している割合が40%と突出して高い。
- 流入の上位構想区域は隣接区域となっている。
- 医療療養病床の高齢者人口10万対の病床数が、多摩地域の構想区域では唯一、都平均を下回る。

### 《凡例》



※ 自構想区域完結率: 北多摩南部に住所地を持つ患者が、北多摩南部の医療機関に入院している割合  
 ※ 必要病床数等推計ツールでは、患者等の集計単位が10未満の場合非公表となっている。そのため、本資料では10未満の数値については未集計である。